

令和7(2025)年度 十勝農試定期作況報告 てんさい

月	作況	事由
5月20日	やや良	移植期は4月23日で平年より4日早く、移植後すぐに降雪があったが障害はなく、活着は順調であった。移植期が早く、5月中旬の気温が高かったことから、平年と比べて草丈はやや長く、生葉数はやや多い。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
6月20日	良	6月上中旬の気温が高く、また適度な降水量があったことから、生育は順調であった。平年と比べて草丈は長く、生葉数はやや多い。 以上のことから、現在の作況は良である。
7月20日	平年並	6月下旬から7月中旬までの気温はかなり高く、日照時間は多かった。降水量は少なく、7月上旬以降干ばつ傾向であった。平年に比べて草丈は短く、生葉数は少ない。根重は平年比101%と平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや良	7月下旬から8月中旬までの気温は高く、日照時間も多かった。7月中旬まで少雨、干ばつであったが、7月下旬以降の降雨により生育は回復した。平年に比べて草丈は短く、生葉数はやや少ないが、根重は平年比111%と重い。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	やや良	平年に比べて草丈は短く、生葉数は少ないが、根重は平年比114%と重い。褐斑病の発生は少ない。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
10月20日	平年並	収穫は平年より2日早い10月14日に行った。根重は平年比118%で、根中糖分は平年より2.48ポイント低い、平年比84%で、糖量は同比100%であった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
11月20日	平年並	移植期は4月23日で平年より4日早く、移植後すぐに降雪があったが障害はなく、活着は順調であった。6月下旬から7月中旬までの気温はかなり高く、7月上中旬頃は少雨で、干ばつであったが、7月下旬から8月上旬の降雨により生育は回復した。生育期間の気温は高く、日照時間はやや多く、降水量は少なかった。収穫は平年より2日早い10月14日に行った。褐斑病の発生は少なかった。根重は平年比118%で、根中糖分は平年より2.48ポイント低い、平年比84%で、糖量は同比100%であった。 以上のことから、本年の作況は平年並である。

生育データ

品種名		アンジー		
項目/年次	本年	平年	比較	
播種期(月日)	3.17	3.15	2	
発芽期(月日)	3.24	3.24	0	
移植期(月日)	4.23	4.27	△ 4	
収穫期(月日)	10.14	10.16	△ 2	
草丈 (cm)	5月20日	9.9	7.4	2.5
	6月20日	50.6	40.3	10.3
	7月20日	55.2	63.2	△ 8.0
	8月20日	56.1	64.9	△ 8.8
	9月20日	50.9	62.8	△ 11.9
生葉数 (枚)	5月20日	9.3	7.4	1.9
	6月20日	17.3	16.2	1.1
	7月20日	20.1	24.9	△ 4.8
	8月20日	26.1	28.1	△ 2.0
	9月20日	28.6	31.9	△ 3.3
根重 (kg/10a)	7月20日	2,661	2,632	29
	8月20日	6,543	5,916	627
	9月20日	8,616	7,575	1,041
根重(kg/10a)		8,969	7,573	1,396
根中糖分(%)		13.37	15.85	△ 2.48
糖量(kg/10a)		1,199	1,200	△ 1
平年比(%)	根重	118	100	18
	根中糖分	84	100	△ 16
	糖量	100	100	0

備考1) 平年値は前7か年中、令和3年(豊作年)および令和5年(凶作年)を除く5か年平均。

2) △は平年より早、少、短、軽、低を表す。

3) 本年より調査品種をアンジーに変更した。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅	株間	株数	移植期
			(cm)	(cm)	(株/10a)	(月日)
42.8	3	アカクローバ	60	23.8	7,003	4.23
施肥量(kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	B ₂ O ₅	堆肥	その他
15.0	21.3	13.8	5.0	0.38	3,000	なし